

作物の種類		いんげんまめ		472		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	胚軸の色	区	観察			緑			淡赤紫		赤紫	紫		初生葉展開期(べにばないんげんでは若茎の着色程度)	
2	伸育性	区	観察		有限わい性			有限そう性		無限半つる性			無限つる性	主茎先端の花梗着生の有無	
3	花色	区	観察		白	黄白	淡赤紫		赤		赤紫		混	開花当日の花の色,混は旗弁と翼弁と色の異なるもの	
4	莢の長さ	30莢	観察・測定		極短	より短	短	やや短	中	やや長	長	より長	極長	莢の基部から莢のくちばしの先端までの長さ、野菜用は収穫適期、子実用は成熟期に測定	
5	100粒重	100粒 2反復	測定	g (小数第2位を四捨五入)										水分16%以下の風乾子実	
6	子実の形	区	観察		球		短楕円		楕円		長楕円	じん臓形	卵形		
7	種皮の斑紋の種類	区	観察	無		普通斑紋		偏斑紋							
8	種皮の地色	区	観察		白	黄白	黄	淡褐	褐	赤	赤紫	黒褐	黒	斑紋種では薄い方の色を地色とする(分布面積に関係ない)	
9	種皮の斑紋の色	区	観察		黄	黄褐	茶	褐	赤	赤紫	濃赤紫	黒	多色斑	斑紋種に限る	
10	種皮の環色	区	観察	無	白		黄	黄褐	茶	赤褐	赤	濃赤紫	黒	胚の周囲のリング状の模様、ただし偏斑紋とは区別する	
11	開花期	区	観察	年月日										全株数の中で40~50%が開花した日	
12	成熟期	区	観察	年月日										全株数の中で80~90%の莢が変色し、粒の大部分が品種固有の色を表わした日	

作物の種類		いんげんまめ		472	1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	草丈	10株	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										有限型は地際から最上位節位までの長さ(主茎、分子を問わない)。無限型は地際から茎の生長点までの長さ
2	主茎節数	10株	測定	* (小数第2位を四捨五入)										子葉節から最上部節まで
3	葉色	区	観察				淡緑	やや淡緑	緑	やや濃緑	濃緑			開花直前の完全葉
4	小葉の大小	区	観察		極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	開花期主茎中央部の完全葉の中央小葉
5	花の位置	区	観察				内側		中間		外側			内側:花房全体が葉で構成される面の内部にあるもの 外側:明らかに葉の外側にあるもの
6	莢の幅	30莢	観察・測定				狭	やや狭	中	やや広	広			莢の最大部分での幅
7	莢のわん曲の程度	区	観察				直		軽く曲る		強く曲る			収穫適期の莢のそりまたは曲りの程度
8	莢のくちばしの長さ	区	観察				短	やや短	中	やや長	長			収穫適期の莢のくちばしの長さ
9	莢のくちばしの形	区	観察				直		軽く曲る		強く曲る			収穫適期の莢のくちばしの形
10	莢のくびれ	区	観察	無									有	収穫適期の莢のくびれの有無
11	莢の表面	区	観察				平滑	やや平滑	中	やや粗	粗			莢の表面の滑らかさの程度
12	莢の横断面	区	観察		扁平	扁平～楕円	楕円	やや楕円	円	やや心臓形	心臓形			収穫適期の莢の中央部のふくらみ部分の断面の形
13	若莢の地色	区	観察		淡黄	黄	淡緑	緑	濃緑	赤紫	紫		その他	粒肥大期
14	若莢の斑紋の色	区	観察	無		赤	赤紫	紫					その他	粒肥大期
15	1莢内粒数	30莢	観察・測定		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	触診法で粒と確認できるもの

作物の種類		いんげんまめ		472	2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	倒伏程度	区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	成熟期における倒伏程度から判定

作物の種類		いんげんまめ		472		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	収穫始期	区	観察		極早	より早	早	やや早	中	やや晩	晩	より晩	極晩	野菜用のみ(収穫開始可能時期)
2	耐暑性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			夏季高温期における着莢の程度から判定
3	炭そ病感受性	区	観察	無			小	やや小	中	やや大	大			発生の程度と面積に応じて 無は0、小は10%、中は30%、大は50%以上を目安とする
4	菌核病感受性	区	観察	無			小	やや小	中	やや大	大			発生の程度と面積に応じて 無は0、小は10%、中は30%、大は50%以上を目安とする
5	角斑病感受性	区	観察	無			小	やや小	中	やや大	大			発生の程度と面積に応じて 無は0、小は10%、中は30%、大は50%以上を目安とする

作物の種類		いんげんまめ		472	3次必須項目										
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	用途	区	観察		子実 用				中間					野菜 用	
2	子実収量	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)									脱粒、唐箕選後に秤量		

作物の種類		いんげんまめ		472		3次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	莢の硬軟	区	観察				軟	やや軟	中	やや硬	硬			莢の可食期間の長短から判定
2	莢の筋の有無	区	観察	無									有	収穫適期の莢の背部縫合線部分に走る筋の有無